

**レジメン名：Cape OX 療法**

【適応癌腫】 胃癌

【1 コースの期間】 21 日 【最大コース数】 8 コース（術後補助化学療法の場合）

【催吐性リスク】 中度

RpNo	薬剤名/手技/コメント	1 回投与量（補正単位）	速度指示	day (1)	day (2)	day (3)	day (4)	day (5)	day (6)	day (7)
Rp 01	点滴注射 30分かけて グラニセトロン静注液シリンジ 3mg 「ナリ」 デカドロン注射液 3.3mg/1mL 生理食塩液 100mL	点滴静注（速度入力なし） 3 mg 9.9 mg 100 mL		+00:00						
Rp 02	※化学療法（薬剤部ミキシング） 120分かけて オキサリプラチン点静注 ブドウ糖注射液 5%250mL	点滴〔化療〕 130 mg/m <sup>2</sup> 250 mL		+00:30						
Rp 03	※化学療法（薬剤部ミキシング） 朝・夕食後（分2） 1 4 日分 カベシタピン（ゼローダ）錠 300 体表面積により用量調節必要	※化学療法内服 2000 mg/m <sup>2</sup>		+00:00	→					14 日まで

<1.25m<sup>2</sup> : 80mg/day  
1.25~1.5m<sup>2</sup> : 100mg/day  
1.5m<sup>2</sup>> : 120mg/day

【備考】

【備考】

オキサリプラチンの累積投与量が 800~900mg/m<sup>2</sup> で末梢神経障害の出現率が増加。

減量は基準 L-OHP : 130mg/m<sup>2</sup>→100mg/m<sup>2</sup>→85mg/m<sup>2</sup>、cape : 2000mg/m<sup>2</sup>→1500mg/m<sup>2</sup>→1000mg/m<sup>2</sup>

血液毒性（好中球減少 grade3 以上、血小板減少 grade3 以上）非血液毒性（grade2 以上）、→ 1 段階減量

カベシタピン投与量（C 法）体表面積<1.36m<sup>2</sup> : 2400mg/day、1.36~1.66m<sup>2</sup> : 3000mg/day、1.66~1.96m<sup>2</sup> : 3600mg/day

>1.96m<sup>2</sup> : 4200mg/day